

Neverland English Schoolを主宰。神戸女子大学非常勤講師。
英語活動支援団体GATE代表。J-SHINEトレーナー資格者。
全国英語教育学会 (JASELE)・関西英語教育学会 (KELES)・
小学校英語教育学会 (JES)・日本児童英語教育学会 (JASTEC)
所属。兵庫教育大学大学院学校教育研究科卒業。



長谷川和代さん

■ニュージーランドの小中学校で

1993年に私はニュージーランドの小中学校で日本語を教えていました。ニュージーランドの子どもたちからすると見知らぬ日本語を学ぶわけですので、今の小学校外国語活動と同じ状況です。さらに、日本語は成績をつけませんでしたのでそれも同じです。その分、授業は自由に行うことができました。赴任した時にニュージーランドの子どもたちが持っていた日本語の教科書は高校生対象であったうえ、小学校高学年用の日本語の教科書が手に入らなかったため、授業の教材は全て手作りし、ボランティアで入ってくれていた日本人の保護者とのTT（ティームティーチング）授業でAll Japaneseで行いました。絵本も用いました。子どもたちは大変積極的に日本語に取り組んでくれました。ゲームでは、カルタやジャンケンが大変な人気でした。当時小学校高学年であった子どもを連れて行って行っていましたので、教員として保護者として外国の小中学校を体験したのは、その後の私の指導法に大きな影響を与える事となりました。一斉授業では思うように子どもたちが動いてくれず、一斉に動く事をしない子どもたちを前に大変なカルチャーショックを受けました。そこで、今でこそ当たり前になっていますが、グループ活動、ペア活動を取り入れ、「それぞれが違っていてもいいんだよ」というスタンスの現地の小中学校の授業形態に変えていきました。困難な場に遭遇して、自分の教育観を覆されるというのは、今の小学校の先生方が小学校外国語活動をされる時に感じられる戸惑いと共通しているかもしれません。

J-SHINE登録団体の一つであるmpi(旧松香フォニックス研究所)に20年以上所属しており、J-SHINE資格取得講座はJ-SHINE設立初年度の2003年に受講しました。その最大の魅力は、小学校外国語活動をトータルに学べること、日本を代表する先生方の講座を直接受ける事ができる事でした。そして、J-SHINEや大学院で学んだ経験を鑑み、小学校支援の経験が500時間を超える頃、多くの方々に現場の声を届けたいと思うようになり、トレーナー資格を取得しました。テスト調べで勉強したことは現場で役立つことが少ないと言われていますが、トレーナー検定試験の参考図書は実際の活動で大いに役立っています。

■小学校に関わるようになったのは

小学校に関わるようになったのは、当時、英語活動支援団体GATEの代表であった姫路獨協大学教授の山本文雄教授が、小学校英語活動支援をさせていただきたい旨を姫路市教育委員会に申し出たことが始まりでした。2005年度よりボランティアとして姫路市の小学校で支援を始めました。2006年度からは兵庫県神崎郡福崎町立福崎小学校においての支援が始まり、2008年度からは福崎町全4小学校の小学校外国語活動支援を本格的に行うようになりました。そして、2011年度からは姫路市でも、小学校外国語活動指導補助員として支援活動をするようになりました。

現場では子どもたちが能動的に外国語活動の授業を受けている様子を見て、外国語活動に距離を置いていた先生が、クラス担任として思わずその授業に参加しまっているという場面が多く見受けられました。担任の先生が授業に参加されると子どもたちはとても喜んでくれます。私たち支援者にとっても、英語に躊躇されていた先生が笑顔で参加して下さることが一番嬉しいです。小学校に取っては、外国語活動支援を日本人から受けるという事そのものが初めてであり、当初は『英語をなぜ日本人から?』という疑問もあったかと思います。それが今、日本人も必要、日本人だからこそ必要と言ってくださるようになったことがこの10年間の大きな変化であったと思います。

■「担任の先生の為に」

私は外国語活動支援を「小学校の担任の先生のために、私達の児童英語教育で培ってきた経験・知識が少しでもお役に立つのなら役立てていただきたい」との思いと、「日本人支援者の支援力を見ていただきたい」との思いで始めました。その支援の輪は徐々に周辺の自治体へと広がり現在に至っています。そして、「担任の先生の為に」という支援方針は今も全く変わっていません。

■ 支援活動の形態は、担任とのTT授業

支援活動の形態は、担任とのTT授業で、最終的には担任主導の授業になるように計画しています。今年で支援6年目になる福崎町の特色は、各小学校の格差が無い事とAll English授業です。それには、月に一度の担当者会が大きな役目を果たしています。参加者は、教育委員会、係り校長、国際理解教育担当教員あるいは外国語活動担当教員が各小学校から1名、ALT、そして支援者であるGATEです。年に数回は中学校英語科担当教員が参加します。関係者が一堂に会し、カリキュラム、活動案の確認、必要によっては活動練習を行っています。また評価においては、提案させていただいた振り返りである外国語活動日記を採用していただき、文章による評価、授業改善等に役立ていただいています。



■ 昨年までの「J-SHINEフォローアップ講座」では

昨年までの「J-SHINEフォローアップ講座」では、人気があった活動、いかに担任の先生に自信を持っていただくか等、現場からの活動を紹介してきました。今後は、J-SHINEのネットワークを生かし、実力のある多くの方々が各地域で外国語活動を支援される輪が広がるように、微力ですが精一杯応援させていただきたいと思っています。

尚、2013年度はJ-SHINE設立10周年記念の年であり、全国各地でJ-SHINEトレーナー主催の「J-SHINEフォローアップ講座」が行われます。詳細につきましては右のサイトをご参照いただければと思います。

J-SHINE 創立 10 周年記念事業

<http://www.j-shine.org/anniversary.html>